

精神保健福祉に関する 法律一部改正について

昨年12月に障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等を一部改正する法律の公布にともない、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律についても一部改正された。施行に関しては2023年4月からと、2024年4月からに分かれているため、今号では今年4月から施行されるものについて國田精神保健福祉士に報告してもらった。

精神保健福祉法に定められた主な入院形態

○任意入院

一般病院と同じように主治医と話し合っ
てご本人が入院に同意して入院となるもの

○医療保護入院

病状は入院治療が必要と精神保健指定医
（指定の研修を受けて登録されている精神
科医）が判断しているのに、ご本人が入院
に同意されない場合に、ご家族（3親等内
の直系血族：親・子供・孫）の同意で入院
となるもの

○措置入院

保健所が窓口となり、病状に自傷他害の
恐れがあって精神保健指定医2名の診察に
より「入院治療が必要」と判断され、指定
の入院ベットを登録している精神科病院に
入院となるもの（入院費は公費負担）

2022年12月16日に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等」を一部改正する法律が公布されたことにより、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）」についても一部改正され、2023年4月1日より施行となった。これは、精神保健福祉法が障害者基本法（昭和45年法律第84号）の基本的な理念にのっとり精神障害者の権利擁護を図るものであることを明確にするとともに、地域生活の支援強化等により精神障害者の希望やニーズに応じた支援体制を整備するためのものとなっている。前回、「保護者制度の廃止」や「退院後生活環境相談員」の設置、「退院支援委員会」の実施等の2016年改正の5年後の見直しに伴うものである。

先ず、精神科病院の入院というのは精神保健法に基づいて運用されており大きく3つに分かれている（詳細は、左記の図を参照）。特に、「医療保護入院」と「措置入院」については、ご本人の同意を得ないという人権擁護の観点から特に留意が必要な入院形態であることから、今回のこの2つの入院形態の運用について大きく3つの改正が行われた。

大きなポイントとしては、

①家族が虐待等の加害者である場合の対応

虐待やDVの加害者であるご家族は同意の対象外となり、「市町村長の同意」申請が可能となった。

②入院患者への告知に関する見直し

医療保護入院（措置入院も）のお知らせも入院理由を明記し、ご家族にもお渡しすることになった。

③新規申請に向けた指定医研修会の有効期間

精神保健指定医の講習後からの申請期間が1年から3年になった。

の3点である。①については、ご本人には入院治療が必要であるにも関わらず同意するご家族が虐待やDV当事者の場合、入院患者さんとの利益に相違が生じるため現場ではその取扱いに苦慮することがあった。今回の改正で、「市町村長同意」による医療保護入院の柔軟な運用による適切な医療の提供の確保をしたいという国の考えである。②については、医療保護入院に同意したご家族に対する書面の義務化とその理由を明記しご本人や同意したご家族に通知することとなった。③については、医療保護入院を判断する精神保健指定医の研修制度の見直し、となっている。

当院では、すでに書式の見直しをしており②については実施を開始している。また、今回の改正は次年度にも第2弾があり、すでに大きな変更点が挙げられている。詳細がわかり次第またご報告していきたい。

当院でも開かれた病院や積極的な退院支援・地域の関係機関との連携を通しての地域支援を目指しているが決して他人事ではなく、日頃の治療や看護やリハビリ活動の振り返りが必要だと痛感した。一方で新型コロナウイルス感染の防止対策のために、入院患者さんの自由な面会や外出泊、地域に出るリハビリ活動や地域関係者の院内活動の参加等、制限をせざるを得ない状況がこの3年間続いており、法律と社会情勢の狭間で複雑な想いも同時に感じている。

ウトナイ病院通信

第6回 残り6ヶ月！！

植苗病院のゴールデンウィークは驚くほど平和に終わりましたが、皆様はいかがでしたでしょうか？コロナ禍前とまではいかなくても制限のないお休みを満喫できたのではないのでしょうか。

さて、新病院ですが、準備は残念ながら初めの頃の様な大きな動きはありません。ですが、慌たしさは段々と増してきています。運ぶもの、購入するもの、捨てるものを仕分けしつつ、家具の配置や席決めなどの細かい所も決めているところです。新病院のレイアウトは、自分たちの業務想像しながら導線を意識するなどして考えるのですが、「片付けできない人の隣だと自分の机が綺麗に見えるから」なんて声も出てきたりしていて、忙しいながらも楽しく取り組んでいるようです。既に断捨離が終了している人が出てきて、物に溢れかえっている机に焦りと不安を感じている日々ですが、それは私だけではないはずと強く信じて、今日も片付かないまま一日が終わりそうです。新病院まであと6ヶ月。怒られる前に何とか整理整頓し終えたいと思います。多分大丈夫なはずです！！



人間はね、赤ん坊から「喜怒哀楽」の順番に覚えていくんだけど…精神を病んだりすると「楽」から順番に感情を失っていくものなんだ。満足すると「喜」、満足できないと「怒」、それが続くと「哀」。でも「楽」っていうのはその3つを超えた感情だね。ゲームに勝つと喜び、負けると怒る。そして負けつづけると哀しい。それでも「もう一度」ってゲームを続けようと思うのが、楽しむってことだな。つまり、「喜怒哀楽」を全部受け入れて、その先にあるのが「楽」というわけさ。（『中井久夫との対話』より）

これは、昨年の8月に天に召された精神科医の中井久夫先生の言葉です。精神医療、そして人生の本質にふれる言葉だと思います。

中井先生は、50年ほど前、統合失調症の患者さんの心のケアの黎明期に先進的な理論をつくりました。いまでも『精神科治療の覚書』や『看護のための精神医学』は名著として読みつがれています。昨年の12月にはNHKの「100分de名著」で「中井久夫スペシャル」が4界連続で放送されましたが、とてもわかりやすく、中井先生のことを知らない人にはうってつけの内容でした。（こちらはNHKオンデマンドでまだ見れるかも知れません）

2015年に、中井先生が札幌学院大学での講演会に来道された際には、ゆかりのある植苗病院の医師のみなさまにお会いできて、たいそうお喜びになっていました。つい先日のことのように思い出します。

中井先生が、天国で憩われますことを心よりお祈りいたします。

(W.M)



精神科医 田中 尚朗

第2回 都市間輸送としての鉄道

みなさんこんにちは。前回、ボストンは米国でも例外的に鉄道での通勤が多くみられる場所の一つであることを書きました。今回は都市間の移動手段としての鉄道というものを見ていきましょう。

ボストンから海沿いに南西に下っていくとニューヨークに至ります。その距離約350キロ、札幌と釧路の間に相当します。札幌から釧路に新千歳からの航空便で行くとすると、8,000-10,000円くらい、時間としては1時間弱でしょうか。JRの特急おおぞらで行くなら自由席で6,820円、5時間程度ですね。中央バスの「スターライト釧路号」なら5,880円、5時間半程度。

ボストンからニューヨークに航空便で行くとなると、だいたい200ドルくらい、所要時間は1時間弱です(ただし往復でもほぼ同額、インフレ前だったらはるかに安かったです)。また、この区間は米国の広域鉄道会社Amtrak(この会社ができた経緯は複雑ですが)の路線があり、Acela Expressという特急が走っています。値段はかなり変動しますが150-250ドルといったところで、4-5時間の乗車です。バスはどうでしょうか。だいたい30ドル前後、4-5時間の乗車となります(これもインフレ前は15ドル!というバスもあったんですが)。

ポストコロナのインフレのせいでわかりにくくなってしまいましたが、要はボストン-ニューヨーク間では、実は鉄道がもっとも高額な乗り物だったのです。汽車旅はぜいたく品、とはいっても別にデラックスカーなどが連結されているわけではありません。

街のどこに着くのかというのも気にすべき点です。飛行機なら街から離れた空港、ただし市街地への交通は確立しています。鉄道であれば、歴史的経緯から駅は市街地のど真ん中にあると相場が決まっています。他方、格安バスの多くは、街はずれの人気のない場所から出発します。どれを取るかは自分次第なんですね。

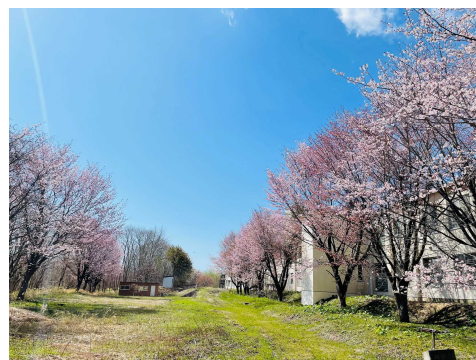


活動報告

植苗で最後の桜

これまで毎年この時期に私たちの目を楽しませてくれた通称「滝本庭園」の桜が最後のシーズンを迎えました。

今年は4月24日の週まで蕾でしたが一気に開花しはじめ、月末の雨風で満開はあっという間に過ぎてしまいました。それでもご覧の通り木々によってはまだ満開になっているものもあり、外来を受診された患者さんやご家族の方が足をとめて桜を楽しむ姿も見られていました。病棟内からも満開の桜が見られ、窓越しのお花見に患者さんと職員も話に花を咲かせていました。



それぞれの出会いと別れ涙する

★Y

過去思い自分見つめて今生きる

★しんいちろう

お 知 ら せ

◆ 千歳巡回バス廃止のお知らせ ◆

千歳方面の皆様にご利用頂いておりました千歳巡回バスですが、人材確保や遠距離・冬期間の安全運行確保の点で困難があり、植苗病院移転閉院の**2023年11月22日（水）**をもちまして、千歳巡回バスを**廃止**する事となりました。

尚、ウトナイ病院は同年12月1日（金）に開院（**外来は12月4日（月）から**）を予定しておりますが、開院後は最寄りの駅である『**沼ノ端駅**』までのシャトルバスを、**30分に1本**程度で運行する予定です。千歳方面の利用者の皆様には大変ご不便、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

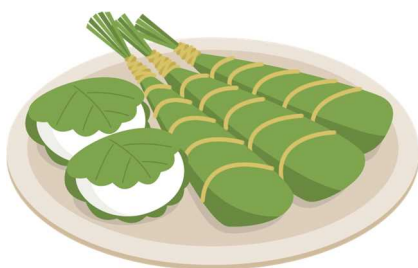
◆ 植苗病院巡回バス変更のお知らせ ◆

2023年6月より植苗病院巡回バス【**土曜日**】が【**日曜祝日**】の時刻表に変更になります。減便になってしまい利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

◆ 身近な鉄道について考えるについて ◆

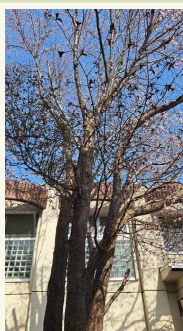
先月より連載が始まりました『身近な鉄道について考える』が、今号よりブログと連動した企画が開始となります。紙面には掲載されていない画像などを掲載する予定でありますので、下記URLよりご覧になって下さい。

<https://blog.goo.ne.jp/samurai-project>



病む人と出会い
病む人を支え
病む人に学ぶ

発行
社会医療法人こぶし広報委員会
苫小牧市字植苗52-2
TEL:0144-58-2314
<http://www.uenae-hp.or.jp/>



4月26日中庭の桜

〈 後記 〉

本州ほどではありませんが、今年は北海道も例年より早く桜が咲きました。リハビリテーション部の窓から見る中庭の桜もこれが最後かと思うと少し寂しい気持ちです。

(H)